

農業科目「グリーンデザイン」における フラワーアレンジメント作品制作に関して 主体的に取り組める生徒の育成

— ICT 端末を活用したポートフォリオ作成と評価活動を通して —

生徒の実態

特別研修員 農業 山田 孝 (高等学校教諭)

自身の作品における長所・短所を適切に捉え、主体的によりよい作品制作に取り組む姿勢に課題

～手立て①～ ICT端末を活用した 作品のポートフォリオ作成

【記録】

毎回の作品制作後、
写真と動画で記録



個人ポートフォリオ



【作品の変遷】

記録の蓄積をし、
自らの作品・技術の
変遷を確認



【次回に向けて】

ポートフォリオを基に
長所や短所を意識

作品の長所や短所を
捉え、花材の生かし方
にも着目できている。

【次回の作品制作に生かせる部分(改善点)を具体的に書いてください】

葉の使い方を工夫するこほ。
花材の高低差をつけるこほ。

～手立て②～ ICT端末を活用した 作品の評価活動

【評価活動】

ポータルサイトを用いた生花作品の
相互評価



【グループワーク】

表計算ソフトに記入
した評価内容の共有



【新たな気づき】

他者の作品評価から
よりよくできる部分や
新たな視点の発見



今後に取り入れられる
技術など、具体的
な気づきが見られる。

評価者	制作者	1 自らの作品制作に取り入れたい技術、2 よりよくするためのアドバイス
〇〇	〇〇	花材の特徴 (FPがしっかり分かるか) 色の配置 (配色や見栄え) 斬新性 (よいと感じた点)
〇〇	〇〇	1 FPDの花を数多い花にすることで強い印象が与えられてよいと思った。 2 FPDの花をもう少し左側に配置してもよいなと思った。 1 後ろに紫色のリンドウが配置してあり、華やかでよいと思った。 2 花の向きを揃えることで、花材の色がしっかりわかってきれいになると思った。
〇〇	〇〇	〇 剣山を隠す場合に罫を使用しているところ。 〇 花材の特徴を生かして、長く使う場面や短く使う場面で立体感や臨場感を表現したところ。

【成果】

- 作品制作前にポートフォリオの確認を行い、作品の長所や短所を捉えることができた。
- 花材の特徴の理解や生かし方に、主体的に向き合おうとする意識の変化が見られた。
- 相互評価をしたことにより他者の視点に気づき、よい作品制作に向け調整を行う姿や作品を改善しようと粘り強く試行錯誤する姿が見られた。

【課題】

- 毎回の授業でテーマや花材が異なるため、ポートフォリオの確認だけでは単純な比較が難しい。
- 写真・動画だけでなく、制作時の気持ちを文章に記録するなどの工夫が必要である。